

## 学校だより 「花里の子」

令和5年度 第12号

伊丹市立花里小学校長

小木曾 笑子

令和5年度全国学力・学習状況調査結果を踏まえ  
「花里の子学力向上プラン」を策定しました

6年生を対象に、令和5年4月18日に実施された「全国学力・学習状況調査」では、国語、算数の学力調査と学習の基盤となる意欲・習慣等の質問紙調査が行われました。その結果を分析し、今後の学力向上に向けての取組を「花里の子学力向上プラン」としてまとめました。なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校での教育活動における一つの側面です。

## 1 学力に関する調査結果について

国語の平均正答率は、全国平均をやや下回りました。「自分の考えをまとめる」「自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」など、記述式の問題に課題が見られました。算数の平均正答率は、全国平均を少し上回りました。「三角形の底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断する」「台形の意味や性質について理解する」など図に関する問題に課題が見られました。

国語と算数の合計平均正答率は、全国平均となりました。「めあて」と「ふり返し」を大切にした授業や思考ツールを用いて考えを可視化する学習、「家庭学習の手引き」を活用した家庭との連携等の取組の成果と捉えることができます。引き続き、家庭と学校の協育による「学力の定着」を目指します。

## 2 学習状況に関する調査結果について

下の表は、学習状況調査結果の中から、ご家庭に協力していただきたい項目について、本校児童の回答を経年比較したものです。数値は、「あてはまる」「どちらかといえば当てはまる」の肯定的回答の合計%です。

	項 目	R5年度	R4年度	R3年度
1	朝食を毎日食べていますか	88.4%	90.9	94.9
2	毎日同じくらいの時間に寝ていますか	79.1%	70.9	76.3
3	毎日同じくらいの時間に起きていますか	90.7%	87.3	79.7
4	休みの日に1日当たりどれくらいの時間勉強しますか (1時間以上)	18.6%	27.3	11.9
5	家で自分で計画を立てて勉強していますか	72.1%	63.6	69.5
6	平日、1日にどれくらいの時間読書をしますか (30分以上)	46.5%	32.7	45.8

「毎日同じくらいの時間に起きている」と回答する子どもの割合は増えていますが、「朝食を毎日食べている」児童の割合は、減少傾向にあることが分かります。身支度や食事にかかる時間は、一人ひとり違います。登校時刻までにお子様に必要な時間が確保できるよう起床時間の見直しをお願いします。

# 花里の子学力向上プラン

ONE HANASATO の協育による「強く やさしく たくましい子」の育成

## 1 学力向上について

### (1)「主体的・対話的に学ぶ授業」の実施

- ①授業の「めあて」を明確にし、子どもたちが「何を学ぶのか」「何ができるようにになればよいのか」をイメージできるように努めます。
- ②授業の中で「考えをもつ場面」「考えを共有する場面」「自分の考えを更新する場面」を設定し、子ども同士が対話的に学習する活動を取り入れます。
- ③授業の終わりに「ふり返し」を行い、「何ができるようになったのか」「まだできていないことは何か」を確認することで、次の学習につなげます。

### (2)ICTを活用した「分かる授業」の実施

- ①1人1台のタブレット端末を活用し、子どもたちの興味関心を引き出します。
- ②AIドリル等を効果的に活用し、学習意欲の継続、個別課題への対応に取り組みます。

### (3)読書活動の充実

- ①学校司書や読書ボランティアによる読み聞かせを充実させ、読書意欲を高めます。
- ②朝の一斉読書、業間休みの図書館利用を実施し、読書習慣の定着を図ります。

## 2 生活習慣、家庭学習習慣等について

### (1)家庭との連携

- ①「家庭学習の手引き」を活用し、家庭と連携して家庭学習習慣の定着を図ります。
- ②1人1台のタブレット端末を活用し、宿題の内容を家庭と共有することで、家庭学習習慣の定着を図ります。
- ③3年生以上で「自主学習」に取り組み、計画的に家庭学習する力を育みます。
- ④家庭と連携して「生活ふり返し週間」を実施し、「早寝・早起き・朝ご飯+家庭学習」の意識づけを図ります。

### (2)PTA・学校運営協議会との連携

- ①「人とのかわり」を学ぶ土曜教室を継続実施します。
- ②「主体的な学び」をめざして、漢字検定(1・3学期)算数検定(2学期)を実施します。
- ③九九道場を開き、目標をもって学ぶ楽しさを実感できる学習活動に取り組みます。

### (3)学校からの情報発信

- ①学校だよりや学校ホームページに、児童の実態、学校の取組、学校生活の様子等を掲載し、家庭との情報共有を図ります。
- ②授業参観等、保護者が学校生活の様子を参観できる機会を学期に2回以上設定します。

## 3 各学年の取組

1年	・絵本の読み聞かせや学級文庫の充実を図り、読書習慣を育むとともに理解語彙の量を増やす ・具体物の操作を取り入れる等、実感を伴う学習を行う
2年	・「ことばプリント」や「週末日記」に継続して取り組み、理解語彙、使用語彙の量を増やす ・体験やICTを活用した疑似体験を学習に取り入れ、実感することで理解を深める
3年	・語句調べや文作り等、国語辞典を使う学習を積極的に取り入れ、使用語彙を増やす ・実物やICTを活用してイメージを広げたり、文章を絵や図にあらわしたりして理解を深める
4年	・国語辞典、漢字辞典の使用を日常化し、「書く」活動をとおして使用語彙を増やす ・3分間計算、音読計算を継続的に行い、四則計算の定着を図る
5年	・漢字、計算、学習用語等の反復練習に取り組み、基礎基本の定着を図る ・デジタル教科書等、ICTを活用してイメージ化を図り、日常生活とのつながりを考える
6年	・子どもたちと一緒に学習計画を立て、みとおしをもって学習に取り組むことができるようにする ・デジタル教科書等、ICTを活用したり、数理操作を行ったりして学習内容の理解を深める